

大高同窓会報

発行

千葉県立大多喜高等学校同窓会

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481

〒298-0216 TEL 0470-82-2621

学 校HP <https://cms2.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>

同窓会HP <https://dousoukai.site/otaki-h/>

E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp

印刷 (株) サラト

姫路市北条宮の町172番地

TEL 079-284-1380



会長挨拶

同窓会長 猿田 寿男 (昭42高)

大多喜高校同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

今年は、異様に早い梅雨明けで今夏は猛暑かと思われましたが、その後戻り梅雨のような不順な気候が続いております(7月16日現在)。昨今の頃は東京オリンピック・パラリンピックが57年ぶりに開催され、コロナ下とはいえ世界中のアスリートたちが自国の名誉をかけ最高のパフォーマンスを見せてくれました。

しかしながら、今年の2月にはロシアによるウクライナ侵攻が始まり、毎日映像で見るウクライナの人・物の崩れ落ちる戦争の惨状を見て本当に心が痛みます。また、一国の元総理が街頭演説中銃弾に倒れ亡くなるという、治安の良さで売っている日本では考えられないことが起き、さらにいったん収まったかと思われたコロナがBA-5の変異株により再びまん延の兆しがみられるなど国内外とも暗いベールにかかったような世相になっております。

いま日本は、新しい資本主義や、財政再建、社会の分断の打破、価値観の多様性、持続可能な社会・経済発展など色々なことが言われています。しかしながら、これからは、かつてのような高度経済社会のような発展は望めないのではないのでしょうか。

作家の五木寛之は、3・11の東日本大震災直後に著した「下山の思想」の中で、「私たちは明治以来、近代化と成長を続けてきた。それはたとえて言えば、山に登る登山の過程にあったといえるだろう。然し今この国はいや、世界は、登山ではなく下山の時代に入ったように思う。…下山の先進国、ギリシャ、イタリア、スペインも英国もすべて下山の先進国であり、アメリカも下山にさしかかっている。私たちがもしアメリカに学ぶべきものがあるとするれば、発展と成長の過去

ではなく、大国が急激な下山をどう成し遂げるかを注目すべきなのだ。…今、私たちは下山の途中にあり、これからは、私たちは実り多い豊かな下山を続ける必要があるのだ。」

また五木は、「…明治期の作家たちは、みな鬱を抱えて生きていた。「不機嫌な時代」といわれるゆえんである。一方では明るい国家的成功があり、一方では急激な近代化の矛盾が大きな影を落としていた時代である。…明治の流行語の一つに、「暗秋」というのがあった。漱石も、鷗外も荷風もみなこの語を用いてみずからのなんとも言えない鬱屈した感情を託した。…明治から大正の初期くらいまで、それは人々のひそかに愛する言葉だった。やがて軍国主義の流れの中で「暗秋」などという不景気な言葉は消えていく。…」と語っています。

私は、日本がこれまでデフレからの脱却を図るとして種々の施策を展開しアベノミクスなどを推進してきたけれど、なかなか思うような成果は上がっていない状況にあることから、五木の「下山の思想」の考え方に納得するものです。

これからは今日の憂鬱な世相を少しずつ乗り越え、グローバルな視点から将来を見据え高望みした経済発展ではなく、我々を取り巻く環境や福祉、教育などの充実を図りながら元気に賢くこころ豊かな下山を続けていかなければならないと思います。

さて、在校生の皆様は120年の歴史と伝統に輝く「大高生」として勉学と品格ある生活態度で引き続き頑張ってくださいと思います。また、同窓会会員の皆様には素晴らしい「大高」は変わらず進化を続けておりますので皆で母校の応援をお願いします。

結びに、中間芳秀校長先生をはじめ、諸先生方の教育に対する情熱に敬意と感謝を申し上げますとともに、母校の一層の発展並びに同窓会会員の皆様のご健勝を祈念し挨拶いたします。



令和4年度同窓会報

校長 中間 芳秀 (昭57高)

日頃より同窓会会員の皆様方には、母校の発展と生徒の育成に多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、昨年4月に着任し2年目を迎えます。この間、同窓生の皆様方には、大多喜町をはじめ近隣の市町に伺う機会に、お声掛けや御助言をいただきました。皆様方の御厚情に心より感謝申し上げますとともに、今後も母校発展のため微力ではありますが、尽力してまいりますので、よろしくお

願いたします。

さて、今年度の本校の特色ある取り組みを2点紹介します。

1つ目は、創立120周年記念式典に続いて、千葉工業大学理事長 瀬戸熊 修様 (昭37年度卒) の計らいで、6月27日(月)に県内普通科設置校として初めて、千葉工業大学と高大連携協定を締結しました。世界最先端の宇宙工学、ロボット開発等、「夷隅は遠く世界を目指す」という校歌の歌詞をも超える、宇宙規模で開発を推進されている千葉工業大学と

の連携に、今後おおいに期待しているところです。特に、ICT（情報通信技術）を活用した授業実践、探究的（自ら課題を発見し、自ら考察し解決し、自らの考えを表現する）な取り組み、地域社会の発展、人材育成等に関する事など、多岐にわたる取り組みができると考えています。

2つ目は、本年度から「教育職希望者講座」を新たに開設したところです。これは、地元の児童・生徒を地元出身者の手で育て、地域に根ざした授業実践を通じ、郷土愛を育み、いすみ郡市の地域振興に寄与することを目的としています。年間14回の講座を通じて、教育職の魅力、地域の特色などを理解し、教育職の素晴らしさ、やりがいを少しでも生徒たちに感じてほしいという思いから、長期休業前後に、希望する校種に実習に行ったり、大学の先生からの出張授業を対面で受講したり、町の教育長さんからの講義なども導入し、地域一帯となって実施をしています。次年度からは、単位の認定

や発展版の講座の開設を目指して、現在検討しているところです。

コロナ禍3年目を迎えています、生徒たちは、落ち着いた学校生活を送っています。明るく、元気に登校し、授業、部活動、学校行事に積極的に取り組んでいます。仲間同士のつながりや、自分自身で考え行動することを、これまで以上に求められる状況下、学校行事では、他を敬い協力して事にあたり、部活動の大会では、最後まであきらめず可能性のある限り戦う姿に、大高生の魅力を感じています。

120年を超える歴史と伝統に輝く「大高生」としての、自覚と誇りを持ち、伝統を受け継ぎ、新たな創造を目指し、優しさと強さを兼ね備えた人材を育ててまいります。

おわりに、同窓生の皆様には、今後とも本校生徒のため変わらぬ御支援、御協力を賜りますよう、併せて皆様方の益々の御発展を祈念申し上げ、挨拶いたします。

千葉工業大学との高大連携協定調印式 ～進化し続ける教育環境、新しい取り組み①～

令和4年度、本校は今年度千葉工業大学と高大連携協定を結びました。

6月27日、1年生を対象に講演をしていただき、同日高大連携協定締結調印式が行われました。

左から松井孝典学長、中間芳秀校長、瀬戸熊修理事長（本校38高卒）です。本校1年生が松井学長に特別講演をしていただき、終りには瀬戸熊理事長からも一言いただきました。生徒にとって、有意義な時間となりました。

また、1年生を対象に千葉工業大学からiPadが貸与されました。今年度より校内Wi-Fiが使えるようになりましたので、授業や探究活動で有意義に活用できることと思います。



教育関係職希望講座が始まりました！ ～進化し続ける教育環境、新しい取り組み②～

今年度から、将来、保育・幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の先生を目指す生徒を対象に、講座が始まりました。母校での教育体験実習、小学校での読み聞かせ活動、高大連携による特別授業など、1年間様々な活動に取り組みます。



最初に大多喜町教育委員会の宇野教育長を講師にお招きして、『教育の魅力について』講演をいただきました。本校出前授業の一つとして、大多喜中学校の鶴岡校長先生にも講演をいただきました。

植草学園大学による高大連携特別授業（2日間）も行われました。夏休みを利用して、保育園・小中学校での体験実習なども行われています。



地域の保育園・小中学校に協力いただいて希望の体験実習を行うことができます。コロナ禍であり活動のできない学校が多い中ですが、大多喜高校の生徒達は色々な機会を与えていただいて都市部の学校に負けないくらいの活動ができています。

千葉県の「県立高校改革」の動向と過疎地域における県立高校の役割

同窓会副会長 加藤 茂範 (昭45高)

県教育委員会は、10年後には県下の中学校卒業生数が大幅に減少する見込であることを踏まえ、2022 (R4)年度から2031 (R13)年度末を目標年次とした「次期県立高校改革推進プラン」を現在作成し、高校改革を推進する予定です。第7学区(長生・夷隅地域)は、2022 (R4)年度から2031 (R13)年度末で中学校卒業生数は、26.6%減少します。「高校改革推進プラン」では、郡部の1校当たりの適正規模を原則1学年4～8学級、県下で10組(統合対象校の組数)程度の統合を見込んでいます。前回の県立高校再編を経て、夷隅郡市(大多喜町、御宿町、いすみ市、勝浦市)に6校あった県立高校は、現在、大多喜高校(以下、大高と略)と大原高校の2校になってしまいました。

県教委は、2021 (R3) 12月～翌年1月にかけて、「次期高校改革」について、県民にパブリックコメント(意見公募)を求めていますので、私は以下のような意見を提出しました。『』内が提出した原文です。

『 今後、一層過疎化・少子化が進行する太平洋岸の郡部に居住する者として、郡部の県立高校の配置の重要性について、以下考えを述べる。

- 1 過疎地域自治体にとっては、「県立高校の統合問題」は、単に教育問題ではなく、「自治体」が継続するか否かの死活問題となっている。どの自治体も、若者の定住促進に力をいれているが、若者(保護者)の立場に立つと、県立高校のない(または選択の少ない)地域に若者の定住は、進んでいない。次世代の生まれない自治体の前途は厳しい。
- 2 「前改革推進プラン」等を通して、郡部では県立高校の統合は、充分行われた。地域から、今でも少ない数の県立高校が更に、少なくなると生徒の多様なタイプの学校選択ができなくなる。また、身近に県立高校がない場合、長距離通学・交通手段・定期代等の生徒及び保護者の負担は加重になるなど、教育の機会均等の原則にも反する。更に、長距離通学した生徒は、地元に戻らず都市部で就業し、地元の過疎化に拍車がかかる。極力、地元の生徒は地元で育成する視点が大切。

3 「次期改革推進プラン」の「県立高校の適正規模・適正配置」では、郡部の1校当たりの適正規模を原則4～8学級としているが、この適正規模の根拠とは何か、郡部なりの適正規模があつてよい。他県で実施しているように、もっと少ない学級数でもよいのではないか。

4 1学級、40名定員にこだわる必要はなく、「過疎地特例」として30名定員を実現して頂きたい。千葉県全体の均衡ある発展の観点からすれば、過疎地(少子化)だから県立高校の統合ではなく、過疎自治体の存続・活性化のためにも、過疎地の特性に充分な配慮をした「県立高校の改革」を推進して頂きたい。』

なお、私の知っている範囲では、他の2名の方も過疎地域の県立高校が減ることへの懸念から、また、大高の存続を願って、各自の考えを書面で提出しました。

「高校改革推進プラン」では、郡部の1校当たりの適正規模を、原則1学年4～8学級としてありますが、この適正規模の意味が不明です。私は地域の特性に応じて、柔軟な学級編成でよいと思います。さらに、現在の1学級40名定員を「過疎地特例」で30名定員でもよいと考えます。

地域の中学校卒業生数の減少等もあり残念ながら大高は、志願者が本年度を含めここ5年間募集定員(1学年4学級

160名)を下回っています。夷隅郡市から大高へ通学する生徒の割合は、2009(H21)年度76%、2017(H29)年度79%、本年度72%です。夷隅郡市以外の長生郡市・市原市等からも2～3割の生徒が通学しています。それだけ大高は、幅広い地域から期待されている存在です。

学校が統合されますと、①通学時間が増して、学業や部活動に影響が生じ、さらに保護者の経済的負担が増えます。②中学生は多様なタイプの学校を選択できなくなります。③交通機関の不便さも増します。④地元で地域の将来を担う若者を育てることが難しくなります。⑤長期的には、地域の定住人口の減少を招き、一層過疎化が進みます。

千葉県全体の均衡ある発展と教育の機会均等の原則を踏まえた過疎地域にふさわしい県立高校の存続は必要です。

大高は1900(M33)年の旧大多喜中学校創設から本年度で、123年目となります。一つの公的組織体が百有余年存続することは、地域の変わらぬ期待や多くの関係者のたゆまない支援等のお陰があつてできたことです。

過疎地域における県立高校を存続させるための課題は、沢山ありますが今後とも大高の存続と発展のため、同窓諸氏や地域の皆さんの応援をよろしくお願いします。

支部・OB会だより

▶▶ 大多喜支部

同窓会大多喜支部では本年5月27日に支部総会をコロナウイルス感染防止対策の関係で3年ぶりの開催となり、平林後援会長、中間学校長をお招きして大多喜町中央公民館において開催させて頂きました。

総会では事業報告、決算報告、事業計画、予算が承認されましたが、コロナ禍ということで思ったように事業も遂行することが出来ませんでした。皆様のご協力により先輩役員の皆様が築き上げてきた親睦ゴルフ大会は何とか開催させて頂き会員の親睦を深めることが出来ました。

議事終了後同窓会事務局より学校の現状報告があり入学者の状況や卒業生の進路等の報告を受けました。

なお、本年も10月26日(水)に大多喜カントリークラブで開催予定ですので会員の皆様の参加をお待ち申し上げます。

一日も早く、このコロナウイルスが終息することをお祈り申し上げます。

大多喜支部長 花崎 喜好

▶▶ 女子高支部

女子高支部では5月22日に総会を予定していましたが、今年度も書面開催としました。少しずつ状況にあわせての活動になりますが、未だ先の見えないところです。学校生活も早く平常に戻ることを願っています。

女子高支部長 中村 美智子

▶▶ 大原支部

大原支部では、7月6日役員会を開催し、令和4年度の支部総会は中止と決定しました。

昨年7月13日の役員会で、例年10月に開催していた支部総会を、令和4年2月に延期することを決定しましたが、今年も中止しました。早期のコロナ禍の終息を願います。

▶▶ 岬支部

岬支部では例年10月中旬に総会を予定していますが、このところ書面開催となっております。活動が制限され、心配は尽きません。

支部の活動についてあまりできていない現状ではありますが、この機会を利用して新しい人達にも積極的に活動に参加して、地域の活性化につとめていただければとおもいます。

▶▶ 経友会報告

経友会は、当初、郷里を離れた同窓生が、母校への支援と会員相互の親睦を目的に発足しました。現在は、主として年2回(初夏・秋開催)のゴルフコンペを実施しております。コンペは、母校近くのゴルフ場を会場に行われております。同窓生であればどなたでも参加を歓迎いたします。

(1) 第76回ゴルフコンペ 令和3年11月16日開催、会場南茂原C C、13名参加。

晩秋の曇時々晴れ、無風の絶好のゴルフ日和の中で行われ

ました。

(2) 第77回ゴルフコンペ 令和4年6月28日開催、会場大多喜CC、15名参加。

異例の短い梅雨が明けた直後で、快晴、無風の中行われました。老若相集った15名の参加者は、プレーを楽しみ、同窓会のゴルフにふさわしいものとなりました。特筆すべきは、前回に続き昭和29年度卒業の3名の先輩方が参加してくださったことです。先輩方は、今年86歳になられますが、皆さんお元気ではつらつとプレーしていたのが印象的でした。ゴルフが生涯スポーツと言われる所以を再認識した次第です。

参加者一同の善意による母校に2万円の寄付があったことを併せて、報告いたします。

(経友会役員)
	会長 引田紘一 (S33年度卒)	
	幹事 秋田幸一 (S46年度卒)	
	☎090-3217-9493	
	幹事 太田雅彦 (S58年度卒)	
	☎090-8872-1912	

▶▶ サッカー一部OB会活動報告

サッカー一部OB会では、令和3年8月28日に大多喜町中央公民館において第20回定期総会を開催し、サッカー部の支援及び地域サッカー普及振興に引き続き取り組むことを確認しました。懇親会は中止とし、総会のみで開催となりました。

地域サッカーの普及振興活動として、サッカー一部OB会の主催により少年サッカー大会を主催してきましたが、ここ2年間(第20回、21回大会)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。小学生を対象としたこのサッカー大会は、千葉県小中学校体育連盟が主催する学校行事としての小学生大会における夷隅郡市の頂点を決する大会がないことから、本少年サッカー大会が地域の優勝チームを決定する大会として認知されてきました。前述の通り令和2年、3年と中止となり、小学生には残念な状況となってしまいました。本年は、第22回大会を12月10日(土)に開催すべく、準備を進めているところです。

サッカー一部OB会事務局 小高 得滋

令和3年度 同窓会決算書

【一般会計】

収入総額 4,716,334円
 支出総額 2,514,827円
 差引残額 2,201,507円(次年度へ繰越)

収入の部 単位：円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	2,995,089	2,995,089	0	令和2年度繰越金
入会金	710,000	710,000	0	5,000円×142名
賛助金	800,000	981,226	181,226	同窓会報発行賛助金
雑収入	11	30,019	30,008	寄付金・預金利息
計	4,505,100	4,716,334	211,234	

支出の部 単位：円

科目	予算額	決算額	残額	説明
会議費	300,000	34,600	265,400	総会補助、役員会費
運営費	300,000	172,880	127,120	事務費、通信費、慶弔費
活動費	600,000	261,760	338,240	支部活動費、旅費等
広報費	2,000,000	1,247,677	752,323	同窓会報発行代
予備費	1,305,100	798,050	507,050	エアコン設置費
戻入	0	-140	140	
計	4,505,100	2,514,827	1,990,273	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和4年9月2日

監事

監事

【特別会計】

収入総額 3,727,741円
 支出総額 0円
 差引残額 3,727,741円(次年度へ繰越)

収入の部 単位：円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	898,720	898,720	0	令和2年度繰越金
雑収入	80	2,829,021	2,828,941	預金利息、補助金返金
計	898,800	3,727,741	2,828,941	

支出の部 単位：円

科目	予算額	決算額	残額	説明
繰出金	0	0	0	
予備費	898,800	0	898,800	
計	898,800	0	898,800	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和4年9月2日

監事

監事

部活動状況



令和4年 第46回全国高等学校 総合文化祭



美術・工芸部門
瀧口 萌奈 (3A)



書道部門
前原 叶美 (3B)



第23回東関東選抜吹奏楽大会
銀賞
第64回千葉県吹奏楽コンクール
高等学校B部門 県代表決定
第28回東関東吹奏楽コンクール
9月10日出場
吹奏楽部

部・同好会

体 育 系	男	女	計
柔 道	3	1	4
剣 道	5	0	5
陸 上 競 技	9	13	22
弓 道	24	17	41
野 球	21	4	25
ソフトテニス	9	4	13
バレーボール	18	12	30
バスケットボール	13	17	30
サッカー	25	3	28
卓 球	12	4	16

文 化 系	男	女	計
生 物	3	2	5
美 術	2	10	12
書 道	3	7	10
マンドリンギター	1	18	19
演 劇	9	3	12
英 語	2	9	11
吹 奏 楽	8	22	30
茶 道	3	13	16
全 合 計	170	159	329

令和3年度進路状況報告

進路指導主事 山仲 俊一郎

令和3年度を振り返る

卒業生総数142名の進路決定状況としては、大学が全体の約49%、短大が約6.3%、専門学校が約28.8%、就職（含公務員）が約9.8%という割合となり、過去2年と比較すると、4年制大の割合が減少し、専門学校および就職の割合が増加していると言える。

大学に関しては、昨年度は私大進学者75名中53名（約70.6%）が県内私大に進学したもので、今年度も、首都圏への進学を回避する傾向がみられると思われたが、今年度の県内私大進学者は67名中36名（約53.7%）という数になった。コロナウイルスが恒常化しつつ、そこまで首都圏を敬遠する動きが目立たなかった。国公立大学には3名の生徒が合格を果たした。

就職に関しては、求人数の減少が心配されたが、本校については大きな影響はなく、ほぼ例年どおりの体制がとれた。また、公務員では複数の自治体で合格者が生まれた。大多喜町役場には本年度も採用していただけた。

コロナ禍という予期せぬ状況の中、思うように事が進まなかった場合もあったが、各自が進路実現に向けてよく努力をし、多くが希望進路を実現させた。生徒自身の粘り強さ、保護者のご支援、学年・担任団のきめ細やかな指導の賜であるといえる。

昨年度の進路指導の概要

- (1) **1・2年進路ガイダンス** 5月
デジタルツールの活用、模試の有効活用法等説明。
- (2) **進路説明会〈3年〉** 6月
進学・公務員・民間就職希望に分かれ、留意点や心構え、今後の日程や諸手続等について説明。
- (3) **夏期・冬期実力養成講座・進学課外授業〈全学年〉**
延べ約315名参加。
- (4) **2年進路説明会** 10月
全生徒に対し、大学・短大、専門、公務員、民間就職についての基本的な流れ等について説明。
- (5) **保護者進路講演会** 11月
土橋 英生氏「進路実現に向けてのマネープラン」
- (6) **1年職業別ガイダンス** 12月
職業に関する知識を深めるよう、11分野に分かれて外部講師から説明・アドバイス。
- (7) **2年分野別進路ガイダンス** 12月
分野別に外部講師より、2年生のうちから取り組むべきこと、心構えや学習法等について、具体的なアドバイス。
- (8) **公務員講座** 7月・12月
希望者対象に、外部講師による説明および公務員試験対策問題演習。
- (9) **進路講演会〈1・2年〉** 1月
倉部 史記氏「15年後の社会を生き抜くために」

- (10) **進路報告会** 3月
昨年の録画した動画を1・2年生に視聴させる形式から例年通りの対面方式に戻し実施。

令和3年度卒業生主な進路実績

〔4年制大学〕（国公立・私大50音順）
 千葉大・千葉県立保健医療大・都留文科大
 植草学園大・大妻女子大・学習院大・神奈川大・亀田医療大・関西大・神田外語大・共立女子大・敬愛大・國學院大・国際武道大・国士舘大・駒沢女子大・駒澤大・実践女子大・淑徳大・城西国際大・城西大・上智大・湘南工科大・女子栄養大・聖徳大・洗足学園音楽大・千葉経済大・千葉工大・千葉商大・中央大・帝京大・帝京平成大・東京情報大・東京電機大・東京農業大・東京理科大・東邦大・東洋大・日本大・文教大・武蔵大・武蔵野音大・明治学院大・立教大・立正大・和洋女子大

〔短期大学〕（50音順）
 植草学園短期大・大妻女子短期大学部・國學院大学北海道短期大・千葉経済大短期大学部・千葉明德短期大・日本大学短期大

〔専門学校〕（順不同）
 千葉県立鶴舞専門・千葉市青葉看護専門・二葉看護学院・日本健康医療専門・千葉医療秘書専門・東京IT会計法律専門・大原簿記公務員専門・大原医療保育福祉専門・神田外語学院・国際理工情報デザイン専門・日本デザイナー学院・千葉美容専門・佐伯栄養専門 他

〔公務員・民間就職〕（順不同）
 千葉県職・茂原市役所・いすみ市役所・大多喜町役場・トヨタカローラ千葉株式会社・房総信用組合・日宝化学株式会社千町工場・神保電器株式会社・株式会社せんどろ・株式会社太平洋クラブ

◇令和3年度卒業生進路状況

	大 学		短 大		専 門 学 校	就 職		浪 人 ・ 他	合 計
	国 立	私 立	国 立	私 立		民間・自営	公務員		
男	0	32	0	3	21	5	1	5	67
女	3	35	0	6	20	3	5	3	75
計	3	67	0	9	41	8	6	8	142

事務局だより

●令和3年度年度末人事異動

《転出・御退職された先生方》

- 片岡 和晃 (教頭) H31 ~ 3年間
東金商業高等学校 (校長)
- 佐藤由紀子 (事務長) H30 ~ 4年間
長生特別支援学校 再任用
- 清水 浩憲 (国語) R 3 ~ 1年間
館山総合高等学校 再任用
- 松田 理 (社会) R 3 ~ 1年間 再終了
- 村田 文敏 (社会) R 3 ~ 1年間
茂原高等学校 再任用
- 渡邊 正之 (社会) R 3 ~ 1年間 (昭53高)
茂原高等学校 再任用
- 牧野 敦 (理科) H29 ~ 5年間
敬愛学園高等学校
- 小河 富夢 (英語) H30 ~ 4年間
茂原樟陽高等学校
- 高師 幸子 (実習助手) R 3 ~ 1年間 退職
- 浦上 裕介 (書道) R 3 ~ 1年間 任期満了

《着任された先生方》

- 森田 圭一 (教頭) 千葉県文書館 (平7高)
- 林 明彦 (事務長) 一宮商業高等学校
- 内藤千津子 (国語) 市原高等学校
- 鶴澤 拓雄 (社会) 大原高等学校 再任用
- 佐々木智之 (社会) 生浜高等学校
- 宮澤 勝 (英語) 長生高等学校 再任用
- 渡邊 良 (理科) 新規採用
- 鶴岡麻美香 (実習助手) 新規採用
- 宮本 明宣 (理科) 茂原樟陽高等学校 会計年度任用



トピックス

令和4年度

- 本校の「総合的な探究の時間」の取り組みやいすみ鉄道への支援活動、また、千葉工業大学との高大連携や教職希望者講習の様子が新聞などに取り上げられました。新しい取り組みも始まり、今後も積極的に取り組んでいきます。
- 経友会より今年も2万円の寄付をいただきました。

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓会報の『同窓生の声』に寄稿いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局へご連絡ください。

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481 TEL 0470-82-2621
千葉県立大多喜高等学校同窓会

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は欄サラトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会 長	猿田 寿男 (昭42高)	
副 会 長	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	加藤 茂範 (昭45高)	
	中村美智子 (昭49女)	
監 事 (会計監査)	地引 敬次 (昭41高)	
	菰田 稔 (昭45高)	
顧 問	齋藤 萬祐 (昭32高)	
	山口 登 (昭37高)	
支 部 長	大 多 喜	花崎 喜好 (昭47高)
	大 原	青柳 英俊 (昭38高)
	勝 浦	竹下 正男 (昭47高)
	茂 原	村杉 仁 (昭31高)
	千 葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	橋本 正志 (昭44高)
	女 子 高	中村美智子 (昭49女)
	御 宿	渡邊 一義 (昭44高)

【支部長は各支部で選出いただいています。】

令和4年度
同窓会総会・懇親会のお知らせ

日時 10月30日(日) 午前11時20分～

場所 勝浦ホテル三日月

会費 男性 8,000円 女性 5,000円

お問い合わせ、お申し込みは、
下記までお願い致します。
TEL 0470-82-2621

(大多喜高校内・同窓会事務局)

※コロナ感染症流行の関係で変更があるかもしれません。御了承ください。